

# 2006年12月期 中間決算説明会

アライドテレシスホールディングス株式会社  
東証2部：証券コード6835

2006年9月21日

# 中間連結決算のサマリー

(単位:百万円、切捨て)	2005年12月期 中間		2006年12月期 中間		前年同期比		(参考) 当初計画	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率	金額	百分比
売上高	26,915	100.0%	<b>27,508</b>	<b>100.0%</b>	592	2.2%	28,200	100.0%
営業利益	334	1.3%	<b>▲606</b>	<b>▲2.2%</b>	▲941	—	—	—
経常利益	520	2.0%	<b>▲1,002</b>	<b>▲3.6%</b>	▲1,522	—	100	0.4%
中間純利益	<b>▲127</b>	<b>▲0.5%</b>	<b>▲2,218</b>	<b>▲8.1%</b>	▲2,090	—	50	0.2%

- 売上高は275億円と前年同期比で6億円(2.2%)増収
- RoHS基準に準拠した部品調達への切り替えなどにより、売上原価率が53.4%に上昇(前年同期52.9%)
- 新ブランドの開発、市場投入、また、新会社法施行による報酬手当の増加などにより販管費が増加(11億円)
- 為替差損(2億円)により、営業外費用が増加
- 米国子会社株式(ATI)の評価引当金計上により、連結調整勘定の一括償却を行い、特別損失に計上(10億円)

# 中間連結損益計算書

(単位:百万円、切捨て)	2005年12月期中間		2006年12月期中間		前年同期比	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率
売上高	26,915	100.0%	27,508	100.0%	592	2.2%
売上原価	14,239	52.9%	14,681	53.4%	441	3.1%
売上総利益	12,675	47.1%	12,827	46.6%	151	1.2%
販売費及び一般管理費	12,340	45.8%	13,433	48.8%	1,092	8.9%
営業利益(損失)	334	1.3%	▲606	▲2.2%	▲941	—
営業外収益	434	1.6%	38	0.1%	▲395	▲91.0%
営業外費用	249	0.9%	434	1.5%	185	74.6%
経常利益(損失)	520	2.0%	▲1,002	▲3.6%	▲1,522	—
特別利益	27	0.1%	29	0.1%	1	4.2%
特別損失	40	0.2%	1,145	4.2%	1,104	2706.8%
税引前中間純利益(純損失)	507	1.9%	▲2,119	▲7.7%	▲2,626	—
法人税等	591	2.2%	423	1.5%	▲168	▲28.4%
少数株主利益又は損失	43	0.2%	▲324	▲1.1%	▲367	—
中間純利益(純損失)	▲127	▲0.5%	▲2,218	▲8.1%	▲2,090	—

## ◆ 営業外費用の内訳

支払利息	179,196千円
為替差損	172,361千円
為替予約評価損	32,871千円
持分法による投資損失	20,988千円
シンジケートローン手数料	10,270千円
その他	19,279千円

## ◆ 特別損失の内訳

固定資産売却損	118千円
固定資産除却損	68,426千円
投資有価証券評価損	29,551千円
連結調整勘定償却費	984,868千円
その他	62,389千円

# 販売費及び一般管理費の内訳

(単位:百万円)

	2005年12月期 中間	2006年12月期 中間	2006年12月期 下期予想
<b>販売費及び一般管理費</b>	<b>12,340</b>	<b>13,433</b>	<b>12,411</b>
人件費	5,152	5,266	5,090
研究開発費 (対売上高比率)	3,004 (11.2%)	3,254 (11.8%)	2,921 (9.1%)
その他営業費用	4,185	4,914	4,400

- 人件費は、給与、福利厚生費の増加により前年同期より1億円増。
- 研究開発費は、前年同期より2億5千万円増。新ブランド製品(ワイヤレス、VoIP)の開発が主な要因
- その他営業費用は、大型案件受注による外注費の増加、新ブランド製品(ワイヤレス、VoIP)のマーケティング費用増加、本社移転費用などが主な要因

# 中間連結貸借対照表

(単位:百万円、切捨て)	05/12	06/12中間	増減額	(単位:百万円、切捨て)	05/12	06/12中間	増減額
<b>流動資産</b>	30,084	31,799	1,714	<b>流動負債</b>	22,491	21,299	▲ 1,191
現金及び預金	3,850	4,847	996	支払手形及び買掛金	6,385	5,660	▲ 724
受取手形及び売掛金	12,897	14,920	2,023	短期借入金	7,464	6,294	▲ 1,170
たな卸資産	10,371	9,334	▲1,037	一年以内返済予定の長期借入金	4,561	4,201	▲ 359
繰延税金資産	1,304	1,126	▲177	一年以内償還予定の社債	268	268	0
<b>固定資産</b>	9,575	8,096	▲1,479	<b>固定負債</b>	5,932	7,461	1,528
有形固定資産	4,368	4,070	▲298	社債	532	4,298	3,766
無形固定資産	1,897	791	▲1,105	長期借入金	4,756	2,547	▲ 2,208
投資その他の資産	3,309	3,233	▲76	<b>純資産(少数株主持分・資本)</b>	11,235	11,134	▲ 101
<b>資産合計</b>	39,660	39,895	235	<b>負債及び純資産合計</b>	39,660	39,895	235

- 売掛金の増加:プロジェクト案件の増加による
- たな卸資産の減少:流通系代理店の戦略的活用効果が見え始めた
- 無形固定資産の減少:米国子会社株式(ATI)の評価引当金計上により、連結調整勘定の一括償却
- 社債の増加:将来の金利上昇を想定した対応

# 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	2005/12中間	2006/12中間
営業活動によるキャッシュ・フロー	732	▲734
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲405	▲1,044
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲380	2,816
現金及び現金同等物に係る換算差額	168	▲107
現金及び現金同等物の増加額	113	930
現金及び現金同等物の期首残高	3,565	3,775
株式交換による現金及び現金同等物の増加額	49	—
現金及び現金同等物の期末残高	3,728	4,705

## ◆主要な内訳

### ・営業活動によるキャッシュ・フロー

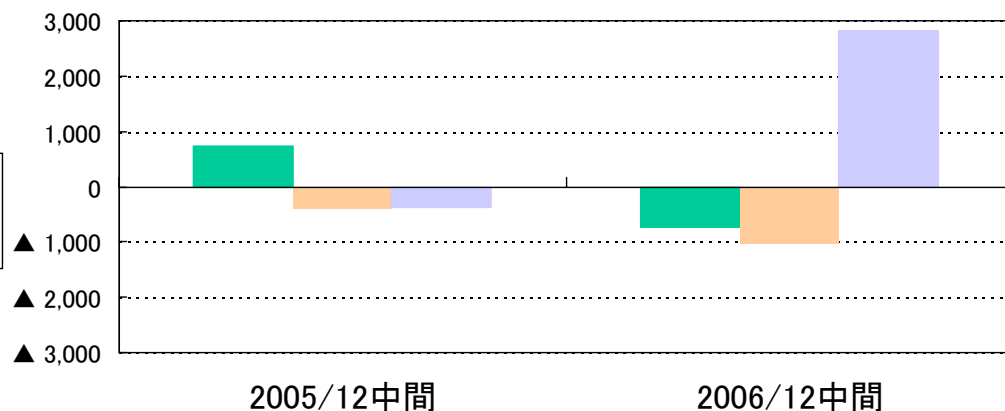
中間純損失	▲2,119
減価償却費	945
連結調整勘定償却額	1,030
売上債権の増加	▲2,149
たな卸資産の増加	886

### ・投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得	▲659
無形固定資産の取得	▲219

### ・財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純減少額	▲1,194
長期借入金の返済	▲2,299
社債の発行	5,000
株式の発行	1,225



# 業績予想の修正について

## ■ 業績予想 (単位:百万円)

[前回発表]

通期	売上高	70,500
	経常利益(損失)	1,330
	当期純利益(損失)	570
中間	売上高	28,200
	経常利益(損失)	100
	当期純利益(損失)	50



[今回発表]

59,780
1,330
50
27,500
▲970
▲2,220

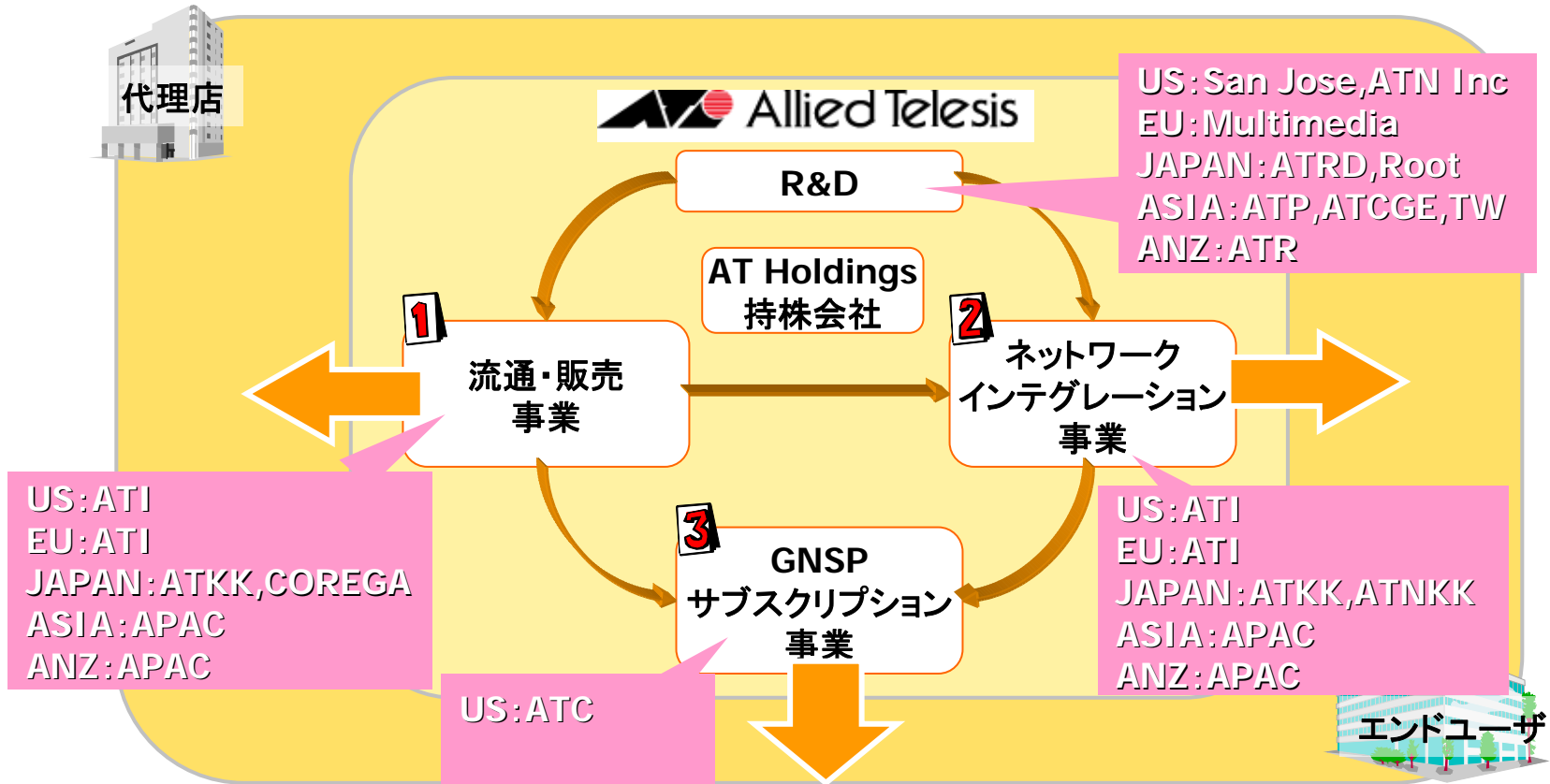
[増減額・増減率]

▲10,720	▲15.2%
—	—
▲520	▲91.2%
▲700	▲2.5%
▲1,070	—
▲2,270	—

## ■ 通期の見通し

- ✓ 当社グループは、他社との差別化を図り確実にこの競争を勝ち抜くため、次世代を担う「IPトリプルプレイソリューション」を全面的に取り組んでまいります。
- ✓ IPTトリプルプレイ市場は、米国では地域ネットワーク(特定エリア、大学、米軍基地等)向けが活性化しており、当社グループの米国における売上増加を牽引するものと思われます。
- ✓ 欧州では、パートナー各社との協力関係のさらなる強化を図ることにより引き続き順調な伸びが見込まれます。
- ✓ また、日本においても、IPTトリプルプレイ成長の環境は整いつつあり、特に2011年の地上波デジタル放送に向けて、CATV向け市場、およびマンションなどのインビル(建物内の閉じたネットワーク環境におけるIPTトリプルプレイ・サービス)市場が緩やかながらも着実に成長していくものと予想されます。

# 今後の事業領域



アライドテレシスグループは、各事業の特性、地域を考慮し、上記のようなグループ構成にしております。個々の事業は独立しているものの、自社リソース(製品、ソリューション、プロフェッショナルサービス)を有効に活用し、利益率の向上を目指してまいります。



# Allied Telesis Holdings

アライドテレシスホールディングス株式会社

〒141-8635 東京都品川区西五反田7-22-17 TOCビル

お問合せ先 : 経営企画部

E-mail: [ir@allied-tesesis.co.jp](mailto:ir@allied-tesesis.co.jp)

Tel:03-5437-6007 Fax:03-5437-6735

ホームページ <http://www.at-global.com/>

## 資料取扱いの注意:

本資料に記載されている、将来の当社業績に関する見通し事業計画及び戦略等は、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。当社の属する情報通信・ネットワーク関連機器市場は、テクノロジーの変化のスピードが速く、競争も激しい上に、世界経済、為替など当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な要因があります。したがって、実際の業績は、これら見通しとは大きく異なる可能性があることをお含みおきください。なお本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断で行われるようお願いいたします。